

授業科目名	学校インターンシップ	教員名	
		Eメールアドレス	
授業形態	演習	オフィスアワー	メールでアポイントメントをとること
科目番号		担当形態	単独
単位数	1	配当年次	1～4年次
アクティブ・ラーニング	主体的、協働的、実践的で、振り返りを伴う問題解決型の取組が期待できる	卒業要件	選択
一般目標	児童・生徒及び学習環境等に対して適切な観察を行い、学校実務に対する補助的な役割を担うことを通して、実習校の児童及び生徒の実態と、これを踏まえた学校経営並びに技能を理解する。		
到達目標	(1)学校における授業以外の実務・実践的な業務(授業の補助、学校行事や部活動への参加など)を経験することを通して学校実務・教員の職務について理解する。 (2)児童及び生徒への教科以外の様々な活動の場面で適切に関わる必要性を理解できる。 (3)学校教育における今日的課題について、課題解決に向けた取組を見学・経験しながら、学校経営方針及び特色ある教育活動並びにそれらを実施する組織体制を理解する。 (4)自身の学びを振り返り、学校インターンシップで学んだことから、教職に関する事柄に対する省察力を高める。		
授業の概要	学校インターンシップとして認定・推奨されるプログラムを中心に、各自のニーズにあったインターンシップに参加する。		
ディプロマ・ポリシーとの関係	国際教養学部でのディプロマ・ポリシーのうち、「1:クリティカル・シンキングをベースとした高度な思考能力を身につけている。」「2:各コースの教育を通じて基礎及び応用知識を身につけ、活用する能力を身につけている。」「3:課題発見及び問題解決能力を身につけている。」に関連		
履修条件・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として、英語教育コースの学生を対象とする。 ・実習に係る交通費等の諸経費は、原則として受講生負担とする。 		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・学校インターンシップとして、以下を認定・推奨している。 ①「スクールトライアル事業」(1年次全員):宮崎県教育委員会主催 ②「ひなた教師塾」(3・4年次):宮崎県教育委員会主催 ③「宮崎市特別支援教育学生ボランティア派遣事業」(3・4年次):宮崎市教育委員会主催 ④「英検対策特別講座～英語力向上推進サポーター」(2～4年次):西都市教育委員会主催 ⑤その他、学部長が認定する教員としての資質向上につながる活動 <p>・それぞれの取組について、学生教職支援センター及び関係機関がオリエンテーション・事前指導を行なう。</p>		
学生に対する評価	授業計画に記載されている活動に45時間以上参加・経験した記録を確認したり、事後報告内容を評価したりして、「合・否」で判定する。		
時間外の学習について			
テキスト	必要な資料はすべてプリントで配布する。		
参考書・参考資料等			

補足説明：・「一般目標」「到達目標」などは、教育学部（2025）を参考にしました。

・教育学部は来年度から、現在の必要時数である 96 時間→75 時間に減じ、単位は 1→2 に増単するようです。

・学則第 23 条に「実験、実習及び実技は、30 時間から 45 時間をもって 1 単位」とあることから、ILA の TC コースについては「選択科目、1 単位、45 時間以上」としてみました。

授業科目名	学校インターンシップ	教員名	
		Eメールアドレス	
授業形態	演習	オフィスアワー	メールでアポイントメントをとること
科目番号		担当形態	単独
単位数	1	配当年次	1～4年次
アクティブ・ラーニング	主体的、協働的、実践的で、振り返りを伴う問題解決型の取組が期待できる	卒業要件	選択
一般目標	児童・生徒及び学習環境等に対して適切な観察を行い、学校実務に対する補助的な役割を担うことを通じて、実習校の児童及び生徒の実態と、これを踏まえた学校経営並びに技能を理解する。		
到達目標	<p>(1)学校における授業以外の実務・実践的な業務(授業の補助、学校行事や部活動への参加など)を経験することを通じて学校実務・教員の職務について理解する。</p> <p>(2)児童及び生徒への教科以外の様々な活動の場面で適切に関わる必要性を理解できる。</p> <p>(3)学校教育における今日的課題について、課題解決に向けた取組を見学・経験しながら、学校経営方針及び特色ある教育活動並びにそれらを実施する組織体制を理解する。</p> <p>(4)自身の学びを振り返り、学校インターンシップで学んだことから、教職に関する事柄に対する省察力を高める。</p>		
授業の概要	学校インターンシップとして認定・推奨されるプログラムを中心に、各自のニーズにあったインターンシップに参加する。		
ディプロマ・ポリシーとの関係	国際教養学部のディプロマ・ポリシーのうち、「1:クリティカル・シンキングをベースとした高度な思考能力を身につけている。」「2:各コースの教育を通じて基礎及び応用知識を身につけ、活用する能力を身につけている。」「3:課題発見及び問題解決能力を身につけている。」に関連		
履修条件・注意事項	<p>・原則として、英語教育コースの学生を対象とする。←「キャリア・アクティビティ」と棲み分けるため</p> <p>・実習に係る交通費等の諸経費は、原則として受講生負担とする。←西都市の英検講座は交通費支給有り</p>		
授業計画	<p>・学校インターンシップとして、以下を認定・推奨している。</p> <p>①「スクールトライアル事業」(1年次全員):宮崎県教育委員会主催 ←8時間x3日=24時間</p> <p>②「ひなた教師塾」(3・4年次):宮崎県教育委員会主催 ←年度によって異なるが概ね4時間x6回=24時間</p> <p>③「宮崎市特別支援教育学生ボランティア派遣事業」(3・4年次):宮崎市教育委員会主催 ←3年次は「介護等体験」と重ねて実施するので、主に4年次にボランティア参加する時間数をカウントする</p> <p>④「英検対策特別講座～英語力向上推進サポーター」(2～4年次):西都市教育委員会主催 ←TCコース2～4年生は全員登録させたが実働は半分弱。9月と12月に西都市の中学校を訪問し一次試験対策を実施</p> <p>⑤その他、学部長が認定する教員としての資質向上につながる活動</p> <p>・それぞれの取組について、学生教職支援センター及び関係機関がオリエンテーション・事前指導を行なう。 ←西都市主催の④以外は、学生教職支援センターに教育学部生と同様の出席の記録等をお願いしておくようお願い</p>		
学生に対する評価	授業計画に記載されている活動に45時間以上参加・経験した記録を確認したり、事後報告内容を評価したりして、「合・否」で判定する。		
時間外の学習について			
テキスト	必要な資料はすべてプリントで配布する。		
参考書・参考資料等			